

日本多施設共同コーホート(J-MICC)研究

平成 20 年度第2回全体会議 議事録

日時 平成 20 年 12 月 15 日(月)13:30～17:30

場所 名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟 3 階 講堂

出席者 主任研究者(浜島信之)、三上春夫、田中英夫、鈴木貞夫、喜多義邦、渡邊能行、古野純典、田中恵太郎、嶽崎俊郎、有澤孝吉、橋本修二、江口英孝、玉腰暁子、増井徹、松尾恵太郎、鈴木勇史、川瀬孝和、渡辺美貴、山田珠樹、柴田伸一、深津満、高嶋直敬、Choudhury Turin Tanvir、尾崎悦子、桧垣靖樹、西田裕一郎、新村英士、中村昭彦、上村浩一、日吉峰麗、武田英雄、嵩下 賢、高見栄喜、川戸美由紀、片瀬史朗、大石早知絵、深田裕子、近藤高明、堀 容子、濱本律子、高橋 隆、柳澤 聖、飯田健太、中央事務局(若井建志、内藤真理子、菱田朝陽、森田えみ、石田喜子、岡田理恵子、川合紗世、富田耕太郎、増田まゆ子、服部秀美)

1. 主任研究者より、本年11月末までにJ-MICC研究本体で36,000名以上、J-MICC連合を加えると約47,000名の研究協力者が募集されたことが報告された。
2. 名古屋大学医学系研究科分子腫瘍分野の柳澤先生より、「プロテオミクス解析技術を応用した疾病関連分子の探索」についてご講演いただいた。
3. 第二次調査について検討し、(1) 質問票調査については、全員に参加を呼びかけること、および使用する調査票の長さは長中短3案から全体として決定すること、(1a) 食物摂取頻度調査票について、J-MICC研究として妥当性研究を行うこと、(2) 生体試料の収集は、全員または一部に参加を呼びかけ、その方法は各コーホート研究実施グループにゆだねること、またbuffy coatを収集しない点を除きベースライン調査と同様とすること、(3) 第二次調査時の同意取得は第二次調査についてのみ行い、ベースライン調査時に同意が得られている他の点について同意撤回希望がある場合には同意撤回の枠組みで対応すること、が確認された。今年度中に第二次調査の検討を中心としたワーキンググループ会議を実施し、詳細はそこで決定することが承認された。第2次調査の目的と各目的に必要なサンプルサイズについて検討するよう中央事務局に要望が出された。
4. 各コーホート研究実施グループ(千葉県がんセンター、名古屋大学、愛知県がんセンター、京都府立医科大学、滋賀医科大学、徳島大学、九州大学[J-MICC連合]、佐賀大学、鹿児島大学、名古屋市立大学)より、ベースライン調査・追跡調査の進捗状況が報告された。その中で、追跡調査のために調査対象医療機関の全診療録を閲覧する方法に関しては、倫理的な検討および手続きが必要であることが指摘された。